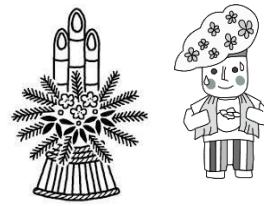




丹高だより



Tanbara High School Newsletter 2026

令和7年度1月号

《1月》 令和7年度 学校行事予定		
日	曜	行事
1	木	元日
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	仕事始め
6	火	代ゼミ白バッック模試(3年)
7	水	↓
8	木	始業式 列車・バス通学生指導 課題テスト(1・2年) 進路希望調査(1,2年)
9	金	身だしなみ指導
10	土	
11	日	
12	月	成人の日
13	火	
14	水	マラソン大会前健康診断 衛生委員会
15	木	交通指導 共通テスト諸注意
16	金	学年末考查時間割発表(3年) 実用英語技能検定③(一次)
17	土	大学入学共通テスト 進研模試(1年,2年Ⅱ型) 実力診断テスト(2年Ⅰ型)
18	日	↓ 全商情報処理検定②
19	月	共通テスト自己採点
20	火	農家実習発表会(園芸2・3年)
21	水	交通安全教育講話(6限)
22	木	人権・同和教育ホームルーム活動④(1,2年)
23	金	学年末考查(3年～1/28) 職員会議 国公立大学出願審議会
24	土	
25	日	全商簿記実務検定②
26	月	
27	火	えひめスーパーハイスクールコンソーシアム(1～4限 オンライン2年3組)
28	水	↓
29	木	
30	金	学年集会 端末回収、HR活動(3年)
31	土	

《新年にあたって》

校長 合田 明典

新年明けましておめでとうございます。

今年は午年（うま）です。私は 1967 年生まれで未年（ひつじ）なのですが、誕生日が 2 月で、年度としては午年でした。そして、60 年前の 1966 年は、干支（えと）で言えば今年と同じ「丙午（ひのえうま）」と言われる年でした。令和の時代を生きる皆さんにはピンとこないと思いますが、昔の日本には、「ひのえうま生まれの女は男を食い殺す。」といった、今では全く信じがたい迷信がありました。その迷信の元となったのが、江戸時代の 1683 年に発生した天和の大火です。これは「八百屋お七の火事」と言われます。内容を簡単に説明すると、「お七は天和の大火で焼き出されて寺に避難し、その寺で働く小姓を好きになった。しかし、火事が収まり家に戻ると小姓に会えなくなった。想いが募ったお七は、再び火事が起こればまたその小姓に会えると思い、放火に及んだ。火はすぐに消し止められたが、お七は火あぶりの刑になった。」という話です。この話を題材にして浮世草子や歌舞伎、人形浄瑠璃が作られ、そのフィクションが迷信につながっていきました。そもそもお七は江戸の大火を起こしていませんし、「ひのえうま」生まれというのも「ひ=火」と無理やりこじつけた後世の創作です。

それだけなら江戸時代のバカげた迷信で終わるのですが、実は 60 年前の 1966 年の出生者数は、激減しました。具体的に見ると、1965 年は約 182 万人、1967 年は約 194 万人であるのに対し、1966 年だけ約 136 万人と 30% 近く少なくなっています。これは、差別や偏見には何の根拠もないという典型例です。そしてこの話から分かることは、「正しい知識を得ること」と「みんなが言っているからという言葉や噂に流されないこと」の大切さではないでしょうか。

1966 年の 4 年後、1970 年に大阪万博が開催され、テーマは「人間の進歩と調和」でした。1977 年には「人間の輪」が発行され、高校でも人権・同和教育学習が進みました。そして昨年、2025 年に再び大阪万博が開催されました。テーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」です。この 60 年間、我々は「進歩と調和」を目指して歩んできました。そしてこれからは、「いのち輝く未来」を作っていく必要があります。今は「ひのえうま」を気にする人はいないと思いますが、SNS でのデマやフェイクニュースが蔓延し、それらは圧倒的な速さで世界に拡散されています。つまり、根拠のない噂や偏見に惑わされなければいけないという教訓は、ますます重要性を増しているようにも感じます。

最後に、馬について改めて考えてみると、「午（うま）」は「最後まで力強く走り抜ける」象徴です。また、「午前」「正午」「午後」の「午」は太陽が最も高く昇るときを指すように、「活発さ」「エネルギー」の象徴でもあります。生徒の皆さん、今年一年、丹原高校で展開されている諸活動を通して、迷信や噂に惑わされず真実を見極める能力や人間性を育んでいきましょう。そして、目標に向かって力強く走り抜ける年にし、私たちみんなの力で、いのち輝く未来を築いていきましょう。

《2年学年主任より》

2学年

2年生の3学期は実質「3年生0学期」だとよく言われます。各自の進路実現に向けて、今、何を優先的に取り組むべきか、2年生のうちに徹底的に何をすべきなのかを考えてください。あれこれ言われて、めんどくさいなと思ってするのではなく、自分から動き出してください。自分の限界を自分で決めてしまわないでください。限られた時間の中で、今後一層ギアを上げ、「あせらず、くさらず、目の前のことこツコツと」、自分自身と闘っていってください。他の人と比べるのではなく、「昨日の自分より今日の自分」という意識で、頑張ってほしいです。自分の弱さに向き合わざるをえないときこそ、成長の時です。時には、不安になることもあるでしょう。何もかも投げ出したいときもあるかもしれません。そんなときは自分一人で抱え込みます、周りの信頼できる人に相談してください。

《3年学年主任より》

3学年

大学入学共通テストや私立大学などの一般入試、国公立大学の個別学力検査に向けて勉強に励んでいる生徒の皆さんにとってはこれからが正に正念場です。志望校合格を目指して、諦めることなく粘り強く取り組み、最後までやり抜きましょう。私たち教職員も最後まで全力でサポートしていきます。保護者の皆様におかれましても、今まで同様、健康面や精神面でのサポートをお願いします。

既に進学先や就職先から内定をいただいている生徒の皆さんには、春からの新生活に向けて今、何をするべきかしっかりと考えて準備しておきましょう。特に、一人暮らしを始める人は一層の自己管理能力が求められます。正しい金銭感覚を身に付け、生活リズムを崩さないようにしてください。